

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組①-3-a 2)	里地里山の保全や利用	【環境局】【産業経済局】【港湾空港局】
②対応する目標・課題	多世代の地域住民が環境保全の取組を行うなど、社会的な連帯感が回復・維持されている都市を目指す。		
③対応する評価指標・目標値	■評価指標: 生物種の保全	■目標値: 曽根干潟の生物種数 約120種(2010年) → 種の減少0(2025年)	
④取組内容 都市住民と農家の協働による訪れたいなる里地里山づくりと生物多様性・希少種の保全活動の取組により、市民の自然環境への興味や理解を深めるとともに、曽根干潟や響灘ビオトープに生息する生物種の保全を図っていく。 (1)都市住民と農家の協働による訪れたいなる里地里山づくり ア)レクリエーションの場としての森林の活用 ・市内4箇所の市民の森・森林公園を適切に管理し、レクリエーションの場として市民に提供する。 1)子どもの農業体験学習の支援 ・市内の小学校が行う「食」と「農」に対する学習に対して、支援を実施する。 (2)災害防止に資する里地里山づくり ア)放置竹林の整備の実施 ・放置竹林を間伐し、たけのこ生産竹林に再生する。 ・放置竹林を解消するため、竹材が有効に活用される仕組みづくりを推進する。 (3)生物多様性・希少種の保全活動 ア)響灘ビオトープの整備・管理運営 ・響灘ビオトープやその周辺緑地の整備・管理運営を実施することにより、ベッコウトンボやチュウヒなどの希少種の生息地を保全するとともに、市民が生物多様性などを学ぶ環境学習の場として、自然環境保全の更なる普及啓発を図る。 1)曽根干潟の環境保全の取組 ・本市の貴重な財産である曽根干潟の環境保全活動(観察会・海岸清掃など)を市民ボランティアと協働で実施する。 ・保全するため継続的な環境調査を実施する。 2)市西部地区(香月・黒川地区)ホテル保護活動拠点支援事業 ・市内で最も多くホテルが飛翔している市西部地区(八幡西区香月・黒川地区)において、住民主体で取組むホテル保護活動や地域交流、国際交流などの活動拠点として、また、これらを紹介する場として北九州市立香月・黒川ほたる館を整備し、ホテルを通じた水辺環境の保護活動を支援していく。 3)希少種の保全活動などを行う団体への助成(自然環境保全活動支援事業) ・自然環境保全活動支援事業による助成を実施する。 (4)里海づくり ア)里海の保全や利用 ・藻場の造成、魚礁の設置、藻場の保全活動、干潟の保全調査 1)海岸漂着物処理推進事業 ・藍島・馬島における海岸漂着物の回収			
⑤エリア ・里山保全に関する活動・・・市域全体 ・ホテル保護活動拠点支援事業・・・八幡西区香月・黒川地区 ・生物多様性・希少種の保全活動・・・市域全体			
⑥主体 北九州市、NPO・ボランティア団体、生産者、森林組合、香月・黒川ほたるを守る会			
⑦活用した国等の制度 環境未来都市先導的モデル事業費補助金(内閣府) 地域自主戦略交付金(内閣府) 社会資本整備総合交付金(国土交通省) 防災・安全社会資本整備交付金(国土交通省) 水産環境整備事業(農林水産省) 農山漁村地域整備交付金(農林水産省) 地域環境保全対策費補助金(海岸漂着物地域対策推進事業)(環境省)			
⑧地域の関与 ・農業協同組合、生産者、森林組合、NPO・ボランティア団体 ・自然環境保全活動支援事業による助成 ・北九州市自然環境保全ネットワークの会との連携・協働 ・「市民活動団体等による環境未来都市推進事業」(24年度新設)による市民活動団体の支援 ・香月・黒川ほたるを守る会の運営			
⑨スケジュール			
23年度	・市民の森維持管理等・子ども農業体験・響灘ビオトープの整備・曽根干潟の保全等・自然環境保全支援活動支援		
24年度	・放置竹林の整備・響灘ビオトープの(オープン)管理運営・里海づくり		
25年度			
26年度			
27年度			
28年度			
29年度以降			
⑩他の取組との連携 取組名:【①-3-a】まちの森プロジェクト～都市と自然の共生を目指したまちづくり 1)環境首都100万本植樹 連携内容:「北九州市自然環境ネットワークの会」を活用したボランティアの連携・協力を行う。			
⑪自立・自律の方針・目標 「北九州自然環境保全ネットワークの会」(自然ネット)を活用し、NPOなどの団体や、ボランティアなどと協働で、里山保全活動や生物多様性・希少種保全活動を推進し、行政、企業、市民が一体となった保全活動を推進していく。市としては自然環境保全活動支援事業による助成を行っていくが、各活動団体の自主的な財源確保(企業や財団などの自然系助成金の活用)などをアドバイスすることにより、より多岐にわたる活動を自立して行っていくように支援していく。			